

日本プロテオーム学会 2020 年大会
JPrOS2020

開催趣意書

2019 年 10 月吉日

日本プロテオーム学会 2020 年大会

大会長 紀藤圭治

(明治大学農学部)

ご挨拶

謹啓

時下、貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は日本プロテオーム学会に対してご高配を賜り、格別なご支援を頂いておりますことを厚くお礼申し上げます。

日本プロテオーム学会（Japanese Proteomics Society : JPrOS）は、2002年に設立された日本プロテオーム機構を母体とし、多様な生物種を対象としたプロテオーム研究全体の推進のために2009年に設立されました。国際的な学術組織であるヒトプロテオーム機構（HUPO）の日本側対応期間としての役割を担うとともに、国内のプロテオミクス研究の発展や若手研究者の育成に努めています。現在は800名を超える大学・学術研究機関および企業の研究者や大学院生などが学会員として登録されています。

日本プロテオーム学会では毎年日本各地で年大会を開いており、全国の大学や学術研究機関および企業からプロテオミクス研究に関わる研究者や大学院生など約300名が参加されています。プロテオーム解析の最新技術、基礎生物学から農学・医療への応用、インフォマティクスなど幅広い研究成果の発表と議論の場を提供するとともに、多くの関連企業の皆様とランチョンセミナーや展示ブースを通して最新技術・分析装置などの情報交換の場を設けております。

日本プロテオーム学会2020年大会は4年ぶりに関東圏で開催することとなり、東京都墨田区のKFC Hall & Rooms（国際ファッションセンター）で2020年9月17日～18日の日程で行います。例年は7月に年大会を開催しておりますが、2020年は東京オリンピック・パラリンピックが開かれるため、その開催期間を避け9月の開催といたしました。会場はJR両国駅からは徒歩6分ほどと駅からのアクセスも良く、両国国技館の北東に位置しております。

年大会の開催に伴う経費は本来ならば学会員からの参加費で賄うべきですが、それだけでは充実した年大会を開催するのが難しいのが現状です。つきましては、2020年大会の開催に当たりまして本年大会の趣旨にご賛同いただき、貴社のご協力を賜りたくお願い申し上げます。ぜひともランチョンセミナーや開催期間中の展示会、予稿集への広告、寄付金などでのご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

末筆で恐縮ですが、貴社の益々のご発展をお祈り申し上げます。

謹白

2019年10月吉日

日本プロテオーム学会 2020年大会 大会長 紀藤圭治



JPrOS2020

開催概要

1. 会議の名称

日本プロテオーム学会 2020 年大会 (JHUPO 第 18 回大会)

2. 主催機関及び責任者

主催機関： 日本プロテオーム学会

会長 石濱泰 (京都大学大学院薬学研究科)

責任者： 紀藤圭治 (明治大学農学部生命科学科)

3. 会期

開催日程：2020 年 9 月 17 日 (木) ~18 日 (金)

4. 会場

開催場所：KFC Hall & Rooms (国際ファッションセンタービル内)

〒130-0015 東京都墨田区横網一丁目 6 番 1 号

TEL : 03-5610-5801



会場案内

受付	国際ファッションセンタービル 3F 「KFC Hall」 前ホワイエ
第一会場	国際ファッションセンタービル 3F 「KFC Hall」
第二会場	国際ファッションセンタービル 2F 「KFC Hall 2nd」
ポスター会場	国際ファッションセンタービル 3F 「KFC Hall Annex」
企業展示	国際ファッションセンタービル 3F 「KFC Hall」 前ホワイエ・ 「KFC Hall Annex」
懇親会会場	第一ホテル両国 25F スカイバンケット 「アジュール」

フロアマップ

2階フロア図



3階フロア図



5. 会議の目的

プロテオミクスをキーワードに幅広い分野の研究に関わる者が一斉に集い、単なる情報交換のみならず、熱い議論を交わす場を提供することを目的とします。特別講演、受賞講演、シンポジウム、ポスターに加えランチョンセミナーや展示、懇親会を通じて産学官の親睦を深め、ゲノム解読から四半世紀を経て、オミックス研究の中核に位置するプロテオミクス研究に新たな風を起こさせるような大会を企画します。

6. 年大会の概要

- (1) 大会テーマ：ゲノム解読から四半世紀を経て
- (2) 参加予定人数：400名(予定)
- (3) プログラム概要：詳細下記(予定)
- (4) 使用言語：日本語(英語のシンポジウムあり)
- (5) ホームページ：<https://www.jhupo.org/2020/>

日付	午前	昼	午後
9月17日 (木)	招待講演 シンポジウム	ランチョンセミナー	シンポジウム ポスター発表
9月18日 (金)	招待講演 シンポジウム	ランチョンセミナー	シンポジウム ポスター発表 表彰式・受賞講演

7. 寄付等を必要とする理由

本大会を日本プロテオーム学会は、日本ヒトプロテオーム機構(Japan Human Proteome Organisation, JHUPPO)を主宰すると共に、我が国におけるプロテオーム研究の普及をはかり、その発展に寄与するため、医学、薬学、農学、理学、工学の広い分野の基礎から応用に至る研究活動に大きく寄与してまいりました。2020年は東京にて開催され、大変多くの参加者(300名以上)を見込みますが、学生をはじめとして、より多くの皆様にご参加をお願いするため手頃な参加登録料を設定しました。本大会に要する総経費は、11,000千円程度を予定しており、展示会、ランチョンセミナー、予稿集への広告、寄付金等によるご支援が不可欠となります。せひ、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

8. お問い合わせ先

JPrOS2020 大会運営事務局 企業プログラム担当：堂前 直

e-mail : jpros2020@jhupo.org

〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1 生物科学研究棟
理化学研究所 CSRS 生命分子解析ユニット

9. 大会組織委員 (敬称略)

	氏名 (所属)
大会長	紀藤圭治 (明治大学)
副大会長	堂前直 (理化学研究所)
	川村猛 (東京大学)
実行委員	足立淳 (医薬基盤・健康・栄養研究所)
	植田幸嗣 (がん研究会)
	梶裕之 (産業技術研究所)
	木村弥生 (横浜市立大学)
	久保田一石 (第一三共 RD ノバーレ)
	近藤格 (国立がん研究センター)
	松本雅記 (新潟大学)
	肥後大輔 (サーモフィッシャー)